

■誰が摂食障害をつくるのか

シャーリーン・ヘス・バイバー著、宇田川拓雄訳

世の女性たちはなぜこれほどまでに、スリムな体になることを追い求めるのか。健康を損ね、時に命さえも危うくするダイエットをしてまでも、グローバル化によって西洋の価値観が世界に広がるなか、スリム教もまた拡大の一途をたどっている。

本書は、食品産業やダイエット産業、フィットネス産業などがメディアの力を借りながら、組織的に「スリムであれ」というメッセージを送り続けている現状を解き明かし、そのメッセージから解放される方途を探っている。

(新曜社・二九九三円)